

# 新唐津市民会館(仮称) 管理運営計画検討委員会

## 第5回



令和5年12月26日

1

### 第4回検討委員会における主な意見への対応

#### 4. 利用形態 (2)開館日・開館時間

- ・ 市民会館部門は、11/5は貸出できるのではないか。
- ・ 共用部門は、唐津くんち開催期間に、お土産を購入できる場所として、利用できたほうが良い。

→ 以下のとおりとします。

部門	休館日	開館時間	窓口対応時間
市民会館部門	年末年始(12/29～翌1/3) 唐津くんち開催期間(11/2～11/4)	午前9時から 午後10時	午前9時から 午後9時
共用部門	年末(12/29～12/31)		
曳山展示場部門	年末(12/29～12/31) 唐津くんち開催期間及びその翌日 (11/2～11/5)	午前9時から 午後9時 (最終入場は 午後8時30分)	

2

## 第4回検討委員会における主な意見への対応

### 4. 利用形態 (3)利用形態

- ・ 小ホールは6か月前より前から、活動室、会議室は3か月前より前から、貸出してもよいのではないか。
  - ・ 利用者の声を把握し、利用申し込み開始時期の根拠をしっかりと整理すべき。
- 以下のとおりとします。

	大ホール	小ホール	活動室・会議室
利用申込時期	13か月前から 2か月前まで  ただし、調整がつけば（準備・練習などの舞台のみ利用も含む）7日前まで予約受付可	<b>9か月前</b> から 2か月前まで  ただし、調整がつけば（準備・練習などの舞台のみ利用も含む）7日前まで予約受付可	<b>6か月前</b> から 7日前まで  ただし、利用当日までに使用料の支払いができる場合に限り予約受付可
利用決定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用希望月の一定の期間（毎月1～10日など）に利用申込み</li> <li>・ 利用希望が重なった場合には、抽選</li> <li>・ 上記の利用決定後は、随時、先着順</li> </ul>		市の施設予約システムを活用
貸出区分	3区分 （午前9時～正午、午後1時～午後5時、午後6時～午後10時）	1時間単位	

3

## 第3回検討委員会における主な意見への対応

### 4. 利用形態

#### (4)施設使用料及び曳山展示場入場料の考え方

- ・ 曳山展示場入場料800円は高いと思う。
  - ・ 文化財としての曳山の保存管理（収蔵庫）にかかるコストは、展示をしてもしなくても、行政が負担すべきコストであり、入場料算定の根拠となる受益者負担の面積から除くべきではないか。
- 収蔵庫に係るコストを除き、入場料を再検討しました。

区 別	料 金
個人	一般700円、小中学生350円
団体(20人以上)	一般560円、小中学生280円

4

## 第4回検討委員会における主な意見への対応

### 7. 広報計画

- 広報計画が市民会館部門中心の記載になっている。  
曳山展示場にかかる広報計画も加筆すべきである。  
→ P33に反映させました。
- 広報紙は求められているか。
- そもそも広報紙は誰が作る想定か。広報紙の作成はある程度の能力と、時間がかかるが、そのような人材が想定されるのか。  
また、年6回発行は、職員数を考えると厳しいのではないか。  
→ 多様な媒体での情報発信を方針としており、高齢者への情報伝達を考えると、発行部数や配布先は検討が必要だが、広報紙は作成したい。  
→ 年4回の発行に修正しました。

5

## 第4回検討委員会における主な意見への対応

### 8. 収支計画 (4)収支概算【資料2】

- 市民会館部門の使用料収入の概算根拠は、利用計画との整合性を図るべきである。  
→ 以下の利用想定で概算しました。

	平日		土日祝日				合計	備考
	本番あり	練習	本番あり			練習		
	0~3,000円以下		0~3,000円	3,001~5,000円	5,001円以上			
貸館での利用日数	12日	80日	62日	12日	4日	10日	180日	
施設主催事業	10日		10日				20日	施設使用料は発生しない
年間利用日数	102日		98日				200日	

6

# 第4回検討委員会における主な意見への対応

## 8. 収支計画 (4)収支概算

- 人件費が低廉すぎると思う。
  - 収入も含め、収支を全体見直してほしい
- 以下に修正しました（詳細はP38参照）。

人件費	+9,400	維持管理費	+4,000	合計	+13,400
使用料収入	▲300	入場料収入	▲8,100	合計	▲8,400

市の実質負担額 121,600 (千円) → 143,400 (千円) (単位：千円)

支 出		収 入			
事業費	14,800	事業費19,600と事業収入見込み4,800の差額	使用料収入	12,300	大ホール9,400 諸室2,900 ※減免分は旧施設を参考
人件費	81,700	職員10名 受付2名 舞台技術3名	入場料収入	56,200	入場者92,000人 現行の入場者属性の割合で試算
維持管理費	115,400	設備保守点検費、警備費、清掃費等、光熱水費、修繕費、運営費の試算を積上			
合計	211,900		合計	68,500	

市の実質負担額 支出：211,900 — 収入：68,500 = 差引：143,400 (千円)

7

**議題** パブリックコメント(案)について  
【資料3,4】

## その他 施設名称について

9

## 施設名称の考え方

市民や観光客への認知、浸透を図るための3つの視点

【視点1】 識別・・・他施設との差別化

【視点2】 理解・・・覚えやすさ、目的の分かりやすさ

【視点3】 愛着・・・親しみやすさ

かつ、奇をてらわないネーミングが必要

10

# 施設名称(案)

名称案	考え方・課題	視点1 【識別】	視点2 【理解】	視点3 【愛着】
案① 唐津市民会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>曳山展示場、共用部門の展示スペース等は、旧条例に倣い、新条例で会館内の一施設として位置付け</li> </ul>	○	市民○ 来訪者△	◎
案② 唐津市民会館・ 曳山展示場	<ul style="list-style-type: none"> <li>曳山展示場を施設の正式名称の一部として位置付け</li> <li>市内全域の祭りの情報発信の面が反映されない</li> </ul>	○	○	○
案③ 唐津市民文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>唐津市文化体育館とかぶる</li> <li>市民のための文化拠点施設であることが伝わり易い</li> <li>曳山展示場、共用部門の展示スペース等は、旧条例に倣い、新条例で会館内の一施設として位置付け</li> </ul>	△	◎	○
案④ 唐津市民文化センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民センター（旧支所）と似通っており、わかりにくい</li> </ul>	×	○	○

11

## 【参考】 公立文化施設の名称

全国劇場・音楽堂等総合情報サイト(公益社団法人全国公立文化施設協会)における名称検索の結果(登録施設 2,164件)

キーワード	件数	施設例
センター	634件	福岡県立ももち文化、伊万里市民
文化会館	346件	佐賀市、武雄市
ホール	318件	鹿島市民文化、さいき城山桜
市(町)民会館	180件	福岡、八女、長崎、熊本
公民館	126件	神崎市中央、多久市中央
プラザ	85件	久留米シティ、宮崎市民
市(町)民文化会館	59件	柳川、日田、鳥栖
劇場	57件	北九州芸術、宮崎県立芸
その他	362件	文化館、複合施設、拠点施設

## 【参考】 「曳山」の名称がつく全国の施設の名称

- ・ 八尾曳山展示館（富山県富山市）
- ・ 城端〈じょうはな〉曳山会館（富山県南砺市）
- ・ こまつ曳山交流館（石川県小松市）
- ・ 長浜市曳山博物館（滋賀県長浜市）
- ・ 大津祭曳山展示館（滋賀県大津市）

12